



い き い き

小 富 士 っ 子



R 4 学校便り No. 27

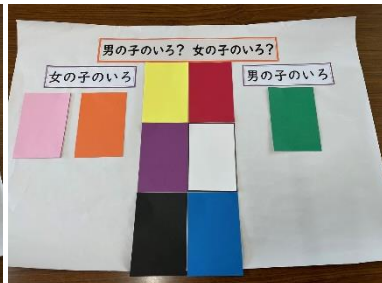
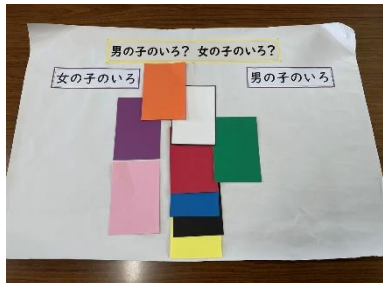
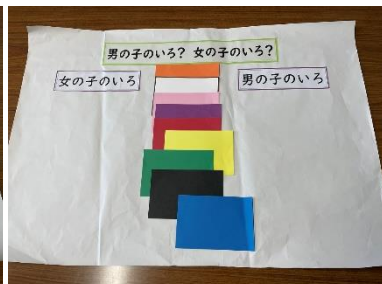
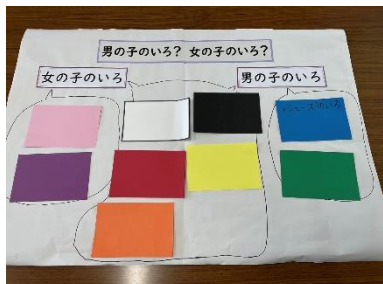
令和 5. 2. 1 0

四国中央市立

小富士小学校

全校学級活動 「あたりまえ」「ふつう」ってなに？

「男の子の色？ 女の子の色？」



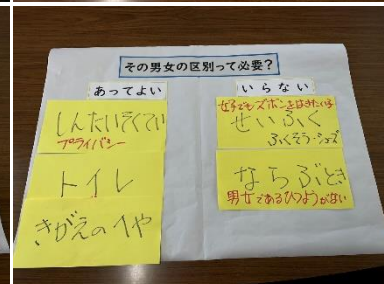
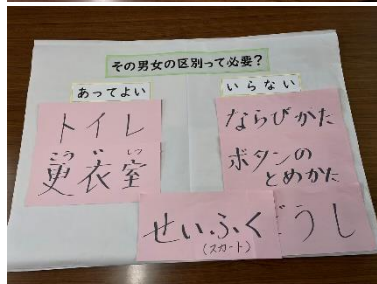
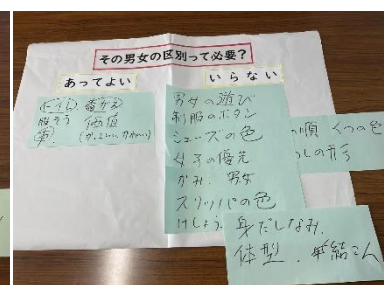
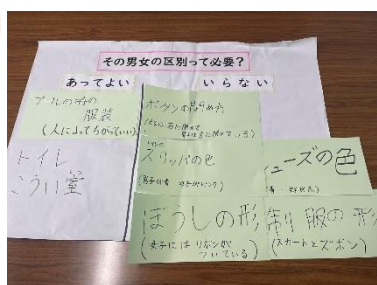
1～3年生は、色カードを「男の子の色」と「女の子の色」に分けてみました。分ける活動の中で、友達と考え方が違うことや男女に分けることの難しさを感じ取っているようでした。

この活動の目的は、多様な考え方があること、そして、男女の二つに分けることには無理があることを感じ取ってもらうことで、「ふつう」「あたりまえ」という概念が人それぞれ違うということに気付いてもらうことでした。

「その男女の区別って必要？」

4～6年生は、今学校にある男女の区別を洗い出し、それが、必要な区別なのか必要でない区別なのかを考えました。

トイレや更衣室、身体測定などは、必要な区別だという意見が多くありました。一方で、並び方、制服、制服のボタンの留め方、帽子、シューズやスリッパの色などはいらない区別となりました。また、6年生からは、「結婚は男女でするもの」という考えもおかしいのではないかという意見も出されました。



男女の混合名簿は2年前から始まっています。それ以外に男女の区別をなくしていけるものはないかと、教員が考えるのではなく、子どもたちに考えさせ、その上で検討して変えていきたいと思っていましたので、たくさんの意見が出されて、教員も負けなようにしっかりと考えないといけないなと身を引き締めました。子どもたちの中からは意見として出なかったのですが、運動会の男女別の徒競走なども男女混合にしてもよいのかなとも思っています。

制服（標準服）については、スタートしましたので、その他のことも、子どもたちの意見を参考にしながら、できるところから取り組んでいきたいと思っています。